

## 2 回目の培土は適期に必ず実施！！

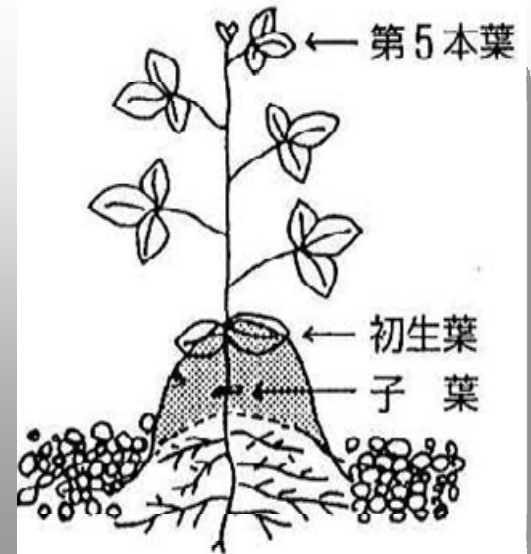
生育量を確保し、排水対策で収量・品質を高めましょう！

### 1. 2 回目の培土と排水対策の徹底

～根元までしっかり土寄せをしましょう～

本葉4～5葉期（播種30～35日後頃）

- 晴れ間を見て速やかに2回目の培土を実施し、生育量の確保と雑草の発生を抑えましょう。
- 培土したところに新たな根が発生し、生育が促進され、倒伏防止にもつながります。
- 雑草抑制の効果があります。
- 培土作業でできた溝と額縁排水溝は、必ず連結しましょう。
- 排水溝を点検・補修し、ほ場の停滞水を速やかに排水しましょう。



### 2. 雑草防除

#### 【難防除雑草の発生に注意】

大豆ほ場への侵入・蔓延を防ぐため、早めに発見し、種子を作る前に除草しましょう。

除草方法は各地区営農経済センターにご相談ください。

○除草剤は、雑草の種類及び生育状況、大豆の生育状況から判断し、適期を逃さずに散布しましょう。

○畦間処理は、吊り下げノズルが必要となります。薬剤が大豆に直接かからないよう注意して散布してください。薬剤が大豆に付着すると葉が黄化する等の葉害が生じます。

(※抜き取った場合は、そのまま放置せず、ほ場外で適切に処理しましょう。)

イヌホオズキ↓



マルバルコウ↑

| 薬剤名           | 対象雑草                   | 10a 当たり散布量                   | 使用方法       | 使用時期  | 使用回数 |
|---------------|------------------------|------------------------------|------------|---|------|
| ポルトフロアブル      | 1 年生イネ科<br>(スズメカビラを除く) | 薬量 200～300mℓ<br>(水 100ℓ で希釈) | 雑草茎葉<br>散布 | イネ科雑草 3～10 葉期<br>ただし、収穫 30 日前まで               | 1 回  |
| 大豆バサグラン<br>液剤 | 1 年生広葉                 | 薬量 100～150mℓ<br>(水 100ℓ で希釈) | 雑草茎葉<br>散布 | 大豆 2 葉期～開花前まで(雑草 6 葉期まで)<br>ただし収穫 45 日前まで     | 1 回  |
|               |                        | 薬量 300～500mℓ<br>(水 100ℓ で希釈) | 畦間処理       | 大豆の生育期(雑草 6 葉期まで)<br>ただし収穫 45 日前まで            |      |
| ロロックス         | 1 年生雑草                 | 薬量 100～200g<br>(水 100ℓ で希釈)  | 畦間処理       | 本葉 3 葉期以降 雑草生育期(草丈 15cm 以下)<br>ただし、収穫 30 日前まで | 1 回  |
| バスタ液剤         | 1 年生雑草                 | 薬量 300～500mℓ<br>(水 100ℓ で希釈) | 畦間処理       | 本葉 5 葉期以降 雑草生育期<br>ただし、収穫 28 日前まで             | 3 回  |

※詳しくは各地区営農経済センターにご確認ください。

とやま GAP（富山県適正農業規範）に基づき、安全に作業しましょう。

大豆情報第 5 号は、7 月中旬の発行予定です。